



1ℓ → 10ℓ



2007年11月30日

報道関係各位

ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
財団法人 日本ユニセフ協会

「1L for 10L (ワンリッター フォー テンリッター)」プログラム最終結果報告

10年間を通じて7億1200万リットルを越す清潔で安全な水が
アフリカ・マリ共和国の子どもたちとコミュニティ、約12,000人へ提供されます

ナチュラルミネラルウォーターブランド「Volvic (ボルヴィック、以下ボルヴィック)」を有するフランスの総合食品メーカー・ダノングループの飲料水事業を日本で展開するダノンウォーターズオブジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区代官山、代表取締役社長:リチャード・ホール、以下ダノンウォーターズオブジャパン)は、2007年7月2日より9月30日まで実施した、ボルヴィックとユニセフがグローバルに展開している清潔で安全な水を確保するための支援プログラム「1L for 10L (ワンリッター フォー テンリッター、以下1L for 10L)」プログラムを通じ、今後10年間でアフリカのマリ共和国に供給される水の総量が712,240,260リットルに達したことを発表しました。

今回の支援規模は当初の目標を上回るもので、日本における本キャンペーンを通じてダノングループからユニセフへ贈られる寄付金は約4,200万円になります。この寄付金は、アフリカ・マリ共和国におけるユニセフの水と衛生のプロジェクトに活用され、ユニセフは清潔で安全な水を確保するための井戸を作り、10年に渡ってメンテナンスを行います。このようにして、ボルヴィック出荷量1Lにつき10Lの清潔で安全な水が、マリ共和国に供給され、今後10年間で約12,000人の人々に、延べ約7億1200万リットルの清潔で安全な水が供給される予定です。

「1L for 10L」プログラムは、今世紀地球が抱える水資源に関わる重要課題に取り組んでいくため、ボルヴィックとユニセフが共同で取り組むもので、ユニセフが開発途上国を中心に世界各地で実施している水と衛生に関するプロジェクトを、ダノングループがボルヴィックブランドを通じて支援するグローバルプログラムです。日本では、延べ約7億リットルの清潔で安全な水がマリ共和国の子どもたちとコミュニティに供給されることを目標に、本年7月2日(月)よりプログラムがスタートしました。

11月30日現在、既に3本の手押しポンプ付の深井戸が建設され、5本の深井戸の掘削が進んでいます。モプティ地方では井戸のメンテナンスを行うスタッフが合計7名選ばれ、修理やメンテナンスに使用する工具の到着を待って、トレーニングが開始される予定です。また、コミュニティにおける衛生の啓発活動も始まっています。

ダノンウォーターズオブジャパンでは、来年も引き続き「1L for 10L」プログラムを実施する予定で、マリ共和国における清潔で安全な水の確保および現地の人々の衛生環境や生活水準の向上を支援するだけでなく、日本におけるアフリカの水と衛生に関する問題に対する関心と理解を高めることを目指します。

以上



「1L for 10L」プログラムによって建設された
手押しポンプ付の深井戸
ユニセフ・スタッフとコミュニティの女性と子どもたち

添付資料:贈呈内容およびマリでの具体的支援活動、マリ共和国における水の現状、「1L for 10L」プログラムを振り返って

*尚、11月30日に実施された贈呈式の模様は www.volvic.co.jp にて12月中旬以降、紹介予定です。



1ℓ → 10ℓ



贈呈内容およびマリでの具体的支援活動

贈呈先	ユニセフ(国際連合児童基金)
贈呈日	2007年11月30日(金)
贈呈額	約4,200万円
寄付金使用用途	<p>1)手押しポンプ付の深井戸20本の建設 2)60本の手押しポンプ付の深井戸の修理を含む持続可能な水源管理体制の整備 3)手押しポンプのメンテナンスを確実に実施できる水と衛生に熟練した作業員の確保 4)コミュニティの水と衛生に関する活動の管理および住民への水と衛生に関する啓蒙活動を行うための自治体レベルの能力の強化</p> <p>持続的な使用を実現させるために、ユニセフは井戸の建設や修理だけでなく、修理工や修理部品の確保、トレーニングを実施し、住民が主体となってメンテナンスを行います。</p>

マリ共和国における水の現状:

「1L for 10L」プログラムスタート時に先行で贈呈されたダノンからの支援により、モプティ地方の3カ所に手押しポンプ付の深井戸が建設され、コミュニティへの衛生習慣の普及も順調に行われました。この結果、モプティ地方全では、雨季(6月～9月)にメジナ虫病が11件発生したものの、昨年まで複数のメジナ虫病が発生していた井戸建設地での発生は0件でした。これは、清潔で安全な水の供給と衛生習慣の定着によるものであり、「1L for 10L」プログラムもこの結果に寄与したものと考えています。

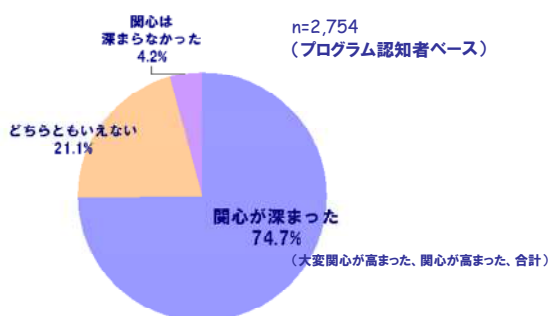
「1L for 10L」プログラムを振り返って:

2007年は本プログラムを通じ、当初の目標を上回る延べ約7億1200万リットルの清潔で安全な水を供給する支援を実現することができました。また、弊社調査でも示している通り、「1L for 10L」プログラム認知者の約75%の方がアフリカの水問題への関心が高まったと回答しており、本プログラムを通じて、日本国内におけるアフリカの水問題やアフリカへの水支援についての認知向上・理解促進に少なからず貢献できたことを大変嬉しく思っています。今回、非常に多くの方のご賛同を得る結果につながったのは、水の会社が自社製品であるミネラルウォーターを通じてアフリカの水問題改善の支援を行い、また、消費者はその製品を購入するだけで簡単にプログラムに参加できるというプログラムの仕組みの分かりやすさにあると考えています。また、同調査によると約60%の方が社会貢献に興味を持っているもののなかなか実際の行動に移せていないという結果も出ており、社会課題の解決に向けて何か貢献したいという日本の消費者の方が持つ潜在的な思考を後押しできたことも共感を得られたひとつの理由だと思えます。本年のプログラムを通じて得られた多くの方からのご協力・ご賛同を受け、2008年以降も、「1L for 10L」プログラムの実施を予定しています。

消費者調査

アフリカ問題への関心

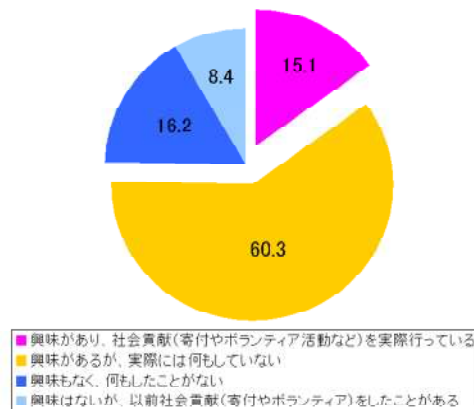
Q. あなたは「1L for 10L プログラム」を通してアフリカの水問題についての関心は深まりましたか？
お気持ちに近いものを1つだけお選びください。



出典: KMDW 全国調査 16歳～59歳男女 2007年8月末実施

消費者調査

Q. あなたは、社会貢献について興味がありますか？



出典：KMDW 全国調査 16歳～59歳男女 2007年8月末実施

ダノングループについて

ダノングループは2006年度売上140億ユーロを誇るグローバル企業です。乳製品において世界1位、全世界のミネラルウォーター(販売量ベース)においても第2位のマーケットシェアを有します。乳製品分野において、ダノングループは売上79億ユーロを計上し、西ヨーロッパ地域(フランス、スペイン、イタリア、ポルトガル、イギリス、ベルギーにおいて第1位)、東ヨーロッパ地域(ポーランド、チェコ、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアにおいて第1位)、北米地域(アメリカにおいて第1位)、中南米地域(アルゼンチン、ブラジルにおいて第1位)、北アフリカおよび中東地域(アルジェリア、モロッコ、チュニジア、イスラエル、サウジアラビア、トルコにおいて第1位)など、それぞれの地域において強い存在力を誇っています。アジア地域においても25億ユーロを超える売上を計上しています。www.danone.com

Volvic について

Volvic は、輸入ミネラルウォーターの中で売り上げ No.1*ブランド。1986年の日本での輸入開始以来、着実に売り上げを伸ばし続け、若者層を中心に幅広く愛飲されています。水源はフランス中部・オーヴェルニュ地方に広がる火山自然公園のピュイ山脈。北端にある Volvic 村の地下深くから採水し、外気に全く触れることなく充填・キャッピングされた、まさに大自然がそのまま生きているナチュラルミネラルウォーターです。水源地の周辺環境は厳重に保護されており、約一万年前の火山活動で生まれた特別な地層が自然なフィルターとなってゆっくりとろ過されます。ヨーロッパでは珍しい「硬度60の軟水」で、そのすっきりとまろやかな味わいは、軟水の国である日本人の口にもよく合い、消費者の皆様から好評をいただいております。www.volvic.co.jp

日本においては、キリンMCダノンウォーターズが Volvic の輸入、マーケティングを行い、キリンビバレッジが販売を行っています。

ユニセフについて

ユニセフは、世界156の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。ユニセフは、開発途上国で男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開しています。活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。40年以上に渡り、ユニセフは安全な水と衛生施設を必要としている人々に提供するためのプログラムを実施しており、井戸やトイレの建設や水と衛生に関する啓蒙活動を展開しています。「安全な水と衛生の確保」はユニセフが中期事業計画(2006年～2009年)で掲げる5つの重点分野の1つで、様々な政府機関やNGO等のパートナーと協力しながら活動しています。<http://www.unicef.org>

日本ユニセフ協会について

財団法人日本ユニセフ協会は、先進工業国37カ国にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、政策提言(アドボカシー)、募金活動を担っています。<http://www.unicef.or.jp>